



平成29年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月4日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスプール
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗 TEL 03-6859-5599
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月11日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第3四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第3四半期	8,308	25.5	391	11.6	393	15.2	239	△13.7
28年11月期第3四半期	6,621	26.4	350	—	341	—	277	—

(注) 包括利益 29年11月期第3四半期 239百万円 (△13.5%) 28年11月期第3四半期 276百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第3四半期	77.65	75.88
28年11月期第3四半期	92.35	92.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第3四半期	3,943	1,290	32.4	404.58
28年11月期	3,717	1,041	27.8	344.52

(参考) 自己資本 29年11月期第3四半期 1,275百万円 28年11月期 1,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年11月期	—	0.00	—	—	—
29年11月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,824	17.2	583	14.8	571	15.0	334	△18.0	111.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期3Q	3,153,400株	28年11月期	3,003,400株
② 期末自己株式数	29年11月期3Q	62株	28年11月期	62株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期3Q	3,081,623株	28年11月期3Q	3,003,338株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、4～6月期の実質国内総生産が6期連続のプラス成長になる等、個人消費や設備投資をけん引役として国内景気については緩やかな回復状態が続いております。一方で、雇用情勢については企業の人手不足感が一段と強まっており、厚生労働省が発表した平成29年8月の全国の有効求人倍率は1.52倍と、1974年以来の高い水準で推移しております。従来から人手不足感の強いサービス業に加え、自動車等の製造業、運送業でも求人が増加してきております。

当社グループにおいても、上記のような雇用情勢を背景に人材派遣サービスが大きく拡大したほか、稼働農園数が増加した障がい者雇用支援サービスの売上が伸長しております。一方、損益面においては、コーポレート部門強化のために人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加したものの、前述の人材派遣サービスの増収効果により、営業利益が増加しております。なお、当連結会計年度においては、持続的成長の実現に向けた経営基盤構築のために、①短期的な収益の確保と中長期的な成長の両立、②新たな収益機会の獲得、③組織力の強化の3点を基本方針として事業を推進していく所存であります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,308,360千円（前年同四半期比25.5%増）、営業利益は391,259千円（前年同四半期比11.6%増）、経常利益は393,482千円（前年同四半期比15.2%増）となり、大幅な増収を達成いたしました。また、受注キャンセルに伴う違約金収入27,300千円を特別利益に、請負契約に基づく損害賠償金14,649千円を特別損失に計上しており、親会社株主に帰属する四半期純利益は239,286千円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

平成29年11月期第3四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成28年11月期 第3四半期	平成29年11月期 第3四半期	増減率
売上高	6,621,747	8,308,360	25.5%
営業損益	350,549	391,259	11.6%
経常損益	341,627	393,482	15.2%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	277,347	239,286	△13.7%

当第3四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールロジスティクスにてロジスティクスアウトソーシングのサービスを、株式会社エスプールプラスにて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を、株式会社エスプールエンジニアリングにてスマートメーター設置業務等のフィールドマーケティングサービスを、株式会社エスプールセールスサポートにてマーチャンダイジング及び販売促進等のサービスを提供しています。また、株式会社エスプールにて行っているシニア層を活用したプロフェッショナル人材バンクサービスや採用募集に対する応募者対応を代行する採用支援サービスも当事業セグメントに含まれております。

当第3四半期連結累計期間においては、契約更新により計画工事数が縮小したスマートメーター設置業務において売上が減少しておりますが、運営する農園事業において稼働数がほぼ倍増した障がい者雇用支援サービスの売上増加により、この減少分を補っております。損益面においても、事業が拡大している障がい者雇用支援サービス部門の販売費及び一般管理費が増加し、また、採用支援サービスや販売促進サービス部門での積極的な人員採用によって人件費が大幅に増加したものの、前述の増収効果により増益を確保しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,728,337千円（前年同四半期比11.0%増）、営業利益は413,372千円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、前述の通り企業の人材不足感が継続しており、主力のコールセンター業務、特に首都圏のヘルプデスクやサービスセンター業務のコールセンターにおいて定着率向上を支援するグループ型派遣の需要が好調に推移しております。損益面においては、昨年10月の社会保険対象者の適用拡大により社会保険料負担が増加し売上総利益率が低下したほか、業容拡大に対応した組織面の強化により人件費が増加しておりますが、新規登録者の確保が順調に進み募集費の増加をある程度抑えることができました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,596,500千円（前年同四半期比33.5%増）、営業利益は511,008千円（前年同四半期比27.8%増）となりました。

平成29年11月期第3四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成28年11月期 第3四半期	平成29年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	6,651,814	8,324,837	25.2%
ビジネスソリューション事業	2,458,384	2,728,337	11.0%
人材ソリューション事業	4,193,429	5,596,500	33.5%
調整額	△30,067	△16,477	－%
合計	6,621,747	8,308,360	25.5%

営業利益（単位：千円）	平成28年11月期 第3四半期	平成29年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	778,876	924,380	18.7%
ビジネスソリューション事業	379,141	413,372	9.0%
人材ソリューション事業	399,734	511,008	27.8%
調整額	△428,327	△533,121	－%
合計	350,549	391,259	11.6%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から14,390千円減少し、2,528,046千円となりました。事業の拡大に伴って受取手形及び売掛金が83,783千円増加しておりますが、繰延税金資産の取り崩し等により流動資産のその他が82,414千円減少しております。また、障がい者雇用支援事業の農園建設を中心とした投資活動による支出や、法人税等及び消費税等の支払、長期借入金の約定弁済等により、現金及び預金が14,386千円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末から240,456千円増加し、1,415,294千円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて船橋ファームやあいち豊明ファーム、柏ファーム等の農園を建設しており、有形固定資産が215,287千円増加しております。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から26,693千円増加し、2,304,167千円となりました。納税資金のために短期借入金を100,000千円借り増ししておりますが、各種支払のため、買掛金が41,446千円、流動負債のその他に含まれる未払金が118,605千円、未払法人税等が29,356千円、それぞれ減少しております。一方で、事業の拡大に伴う人件費の増加等により未払給与を中心とする未払費用が147,715千円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末から49,478千円減少し、348,721千円となりました。約定弁済により、長期借入金が106,152千円減少し、一方農園の新規建設により資産除去債務が48,366千円増加しております。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により239,286千円、新株予約権の行使に伴う増資及び新株予約権の発行により39,406千円増加し、一方、第17期末配当により30,033千円減少し、1,290,452千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、人材ソリューション事業が好調であり、売上高については期初計画をおよそ5%上回る水準で推移しております。派遣社員の社会保険料等の法定福利費の負担増加によって売上総利益率は若干低下しておりますが、販売費及び一般管理費については期初計画どおりであり、結果として営業利益以下の各段階利益については期初計画をやや上回る水準となっております。今後につきましては、人材ソリューション事業を始めとする主力事業の需給の状況について、現時点で大きな変化は見込んでいないため、連結業績予想は前回発表の水準になるものと判断しております。

従いまして、平成29年1月13日に公表いたしました平成29年11月期通期連結業績予想については、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,074,764	1,060,377
受取手形及び売掛金	1,265,106	1,348,890
商品	23,653	22,828
その他	180,373	97,959
貸倒引当金	△1,460	△2,009
流動資産合計	2,542,437	2,528,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	754,843	970,845
その他(純額)	203,682	202,967
有形固定資産合計	958,526	1,173,813
無形固定資産	56,777	64,109
投資その他の資産		
その他	186,686	201,230
貸倒引当金	△27,151	△23,858
投資その他の資産合計	159,534	177,372
固定資産合計	1,174,838	1,415,294
資産合計	3,717,275	3,943,341
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,632	91,186
短期借入金	800,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	159,836	144,356
未払法人税等	80,946	51,590
未払費用	552,822	700,537
賞与引当金	27,643	25,793
役員賞与引当金	30,000	—
その他	493,592	390,702
流動負債合計	2,277,474	2,304,167
固定負債		
長期借入金	245,722	139,570
資産除去債務	132,467	180,834
その他	20,009	28,316
固定負債合計	398,199	348,721
負債合計	2,675,673	2,652,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,138	366,951
資本剰余金	201,138	216,951
利益剰余金	482,075	691,328
自己株式	△53	△53
株主資本合計	1,034,297	1,275,176
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	402	592
その他の包括利益累計額合計	402	592
新株予約権	6,901	14,682
純資産合計	1,041,602	1,290,452
負債純資産合計	3,717,275	3,943,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
売上高	6,621,747	8,308,360
売上原価	4,709,315	6,041,790
売上総利益	1,912,432	2,266,570
販売費及び一般管理費	1,561,882	1,875,310
営業利益	350,549	391,259
営業外収益		
受取利息	121	9
持分法による投資利益	958	—
助成金収入	—	6,889
その他	1,539	1,288
営業外収益合計	2,619	8,186
営業外費用		
支払利息	7,200	5,243
貸倒引当金繰入額	3,533	—
持分法による投資損失	—	119
その他	808	601
営業外費用合計	11,541	5,964
経常利益	341,627	393,482
特別利益		
違約金収入	—	27,300
特別利益合計	—	27,300
特別損失		
固定資産除却損	12,083	4,837
損害賠償金	—	14,649
特別損失合計	12,083	19,486
税金等調整前四半期純利益	329,544	401,295
法人税、住民税及び事業税	68,677	83,402
法人税等調整額	△16,481	78,606
法人税等合計	52,196	162,008
四半期純利益	277,347	239,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,347	239,286

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	277,347	239,286
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△452	190
その他の包括利益合計	△452	190
四半期包括利益	276,895	239,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,895	239,476
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,443,705	4,178,041	6,621,747	—	6,621,747
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14,678	15,388	30,067	△30,067	—
計	2,458,384	4,193,429	6,651,814	△30,067	6,621,747
セグメント利益	379,141	399,734	778,876	△428,327	350,549

(注) 1. セグメント利益の調整額△428,327千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△420,752千円及びセグメント間取引消去△7,575千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,723,967	5,584,392	8,308,360	—	8,308,360
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,370	12,107	16,477	△16,477	—
計	2,728,337	5,596,500	8,324,837	△16,477	8,308,360
セグメント利益	413,372	511,008	924,380	△533,121	391,259

(注) 1. セグメント利益の調整額△533,121千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△534,483千円及びセグメント間取引消去1,362千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。